

通学路の交通安全対策に力を入れて

千葉県八街市で、通学中の子どもの列にトラックが突っ込み、子どもが命が失われました。この事故を契機に、通学路の交通安全対策が見直されつつあります。

すでに北海道では、全道的な通学路の点検が行われ、全道で812箇所の危険箇所があることがわかっています。（釧路市では街頭か所はなし）

さらに、国は9月末までに全国の道路管理者、教育委員会が一斉に危険箇所を洗い出すよう指示しました。この調査結果を踏まえて国は、10月末までに通学路の交通安全対策として、歩道の拡充やカードレールの設置などの計画を立てる予定です。

が寄せられました。

小学校の北側には、市営住宅しんよう団地や道営住宅新富士団地があります。学校の周辺道路は時間指定の車両通行禁止道路です。

しかし、北側から車両通行禁止の通学路に入るため横断しなければならぬ市道「新富士1線」には、横断歩道が一つありません。団地の南側玄関もあり、子どもたちの飛び出しも心配されています。



しんよう団地南側に横断歩道をつけてほしい

そうした時に、新陽小学校に子どもを通わせている女性の方から、通学路に横断歩道を設置してほしいとの相談

そこで町内会に尽力いただき、新陽小学校にも協力いただいて、釧路市に対し、学校と町内会の連名で、「手押し式の信号を。少なくとも横断歩道をつけて」という要望書を提出しました。釧路市から、設置者となる北海道に要望してもらったことになりました。

